

まちと里が共生するコンパクトシティ

- 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ 提言書まとまる -

東北地方整備局では、「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ像やその目指すべき方向について、『東北地方コンパクトシティ検討委員会』において検討してきましたが、この度、**提言書**がまとまりましたのでお知らせします。

キーワードは「まちと里が共生するコンパクトシティ」

行政区域全体を、まち（街なかエリア、郊外エリア）と里（緑農エリア）の3つのエリアに区分し、それぞれの特性を活かしながら、一体となったまちづくりを目指すものです。

都市間連携のために不可欠となる広域道路ネットワーク

市町村がフルセット型の公共公益施設整備を行うことは非効率であることから、連携して地域サービスを向上させていくネットワーク型の地域構造の拡充が重要となります。

7つの目指すべき方向

まちと里が共生するコンパクトシティは、「社会的」、「環境的」、「経済的」に持続可能な都市を目指して、4つの基本理念のもと7つの目指すべき方向を掲げています。

4つの基本理念

- ・安全で安心、快適な都市
- ・魅力的で活力ある都市
- ・歴史や文化、自然環境を活かした美しい都市
- ・参加と協働による健全な都市

7つの目指すべき方向

- ・安全で安心、豊かな暮らしの確保
- ・誰もが移動しやすい交通サービスの確保
- ・中心市街地の再生と公共公益施設の再配置
- ・地域を支えるコミュニティの維持・再生
- ・市街地拡大の見直しと緑農地の維持・保全
- ・美しく環境にやさしいまちづくりの推進
- ・効率的・効果的な行政サービスの提供

提言書は、東北地方整備局ホームページに掲載いたします。

(URL <http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city>)

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 企画部 広域計画課 TEL 022-225-2171(代表)
(東北地方コンパクトシティ検討委員会事務局)

課長 大村 敦 (内線 3211)

課長補佐 佐藤 利美 (内線 3212)

東北地方コンパクトシティ検討委員会における検討経緯

委員名簿

委員長	清水 浩志郎	秋田大学 名誉教授 (故人)		
委員	鈴木 浩	福島大学 教授	木村 一裕	秋田大学 教授
	山田 晴義	宮城大学 教授	高嶋 裕一	岩手県立大学 准教授、等 (敬称略)

第1回 検討委員会(平成18年 9月26日)

- ・ 「コンパクトシティ」に関する各委員の意見紹介
- ・ 委員会趣旨および進め方について
- ・ 東北地方都市の課題およびモデル都市の選定について

第2回 検討委員会(平成18年12月12日)

- ・ 「東北の中小都市」の検討視点の整理
- ・ モデル都市におけるコンパクトシティの検討
- ・ 「東北地方の中小都市」におけるコンパクトシティ像
- ・ 提言のとりまとめ(案)

第3回 検討委員会(平成19年 6月22日)

- ・ 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ提言書について
- ・ 本提言書の今後の活用方法について

提言の全体構成

なぜ、「東北地方の中小都市」でコンパクトシティに取り組むのか？

「持続可能な都市」の基本理念

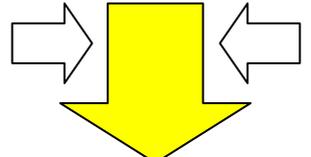
安全で安心、
快適な都市

魅力的で
活力ある都市

歴史や文化、自然環境を
活かした美しい都市

参加と協働に
よる健全な都市

都市を取り巻く状況
低密度な市街地拡大 中心市街地の空洞化
モータリゼーションの進展 環境負荷の増大
行政コストの増大 人口減少・高齢化社会の到来



「東北地方の中小都市」の特性
地域特性：雪の影響、農地・自然が多い、都市が点在
人口特性：著しい人口減少、著しい高齢化
社会特性：就業・商業拠点、市街地の拡大志向

「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ

(1) 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ像

～ まちと里が共生するコンパクトシティ ～

(2) 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティの目指すべき方向

安全で安心、豊かな暮らしの確保
誰もが移動しやすい交通サービスの確保
中心市街地の再生と公共公益施設の再配置
地域を支えるコミュニティの維持・再生

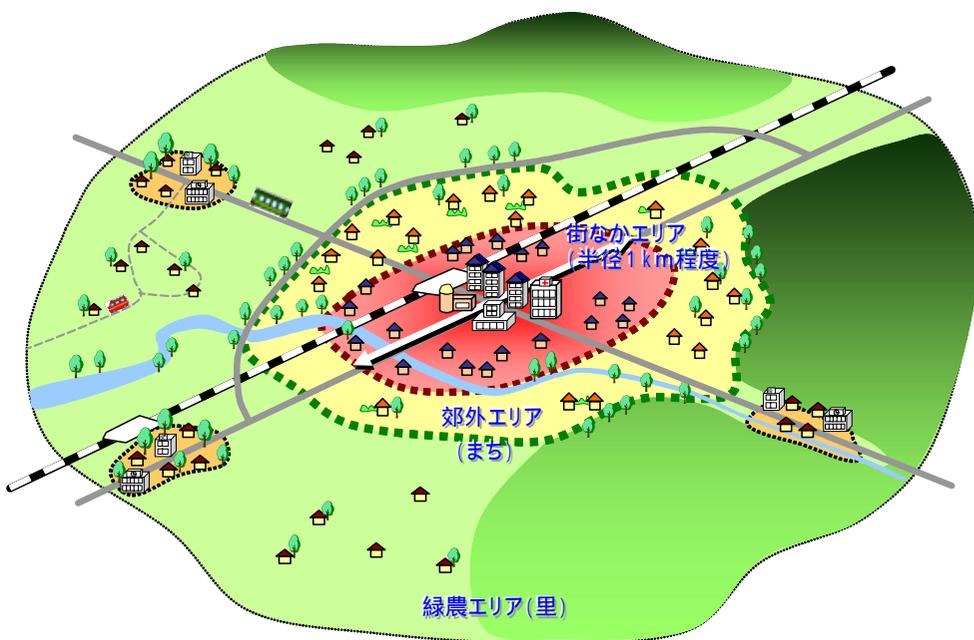
市街地拡大の見直しと緑農地の維持・保全
美しく環境にやさしいまちづくりの推進
効率的・効果的な行政サービスの提供

コンパクトシティの実現に向けて

「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ

(1) 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティ像

まちと里が共生するコンパクトシティ



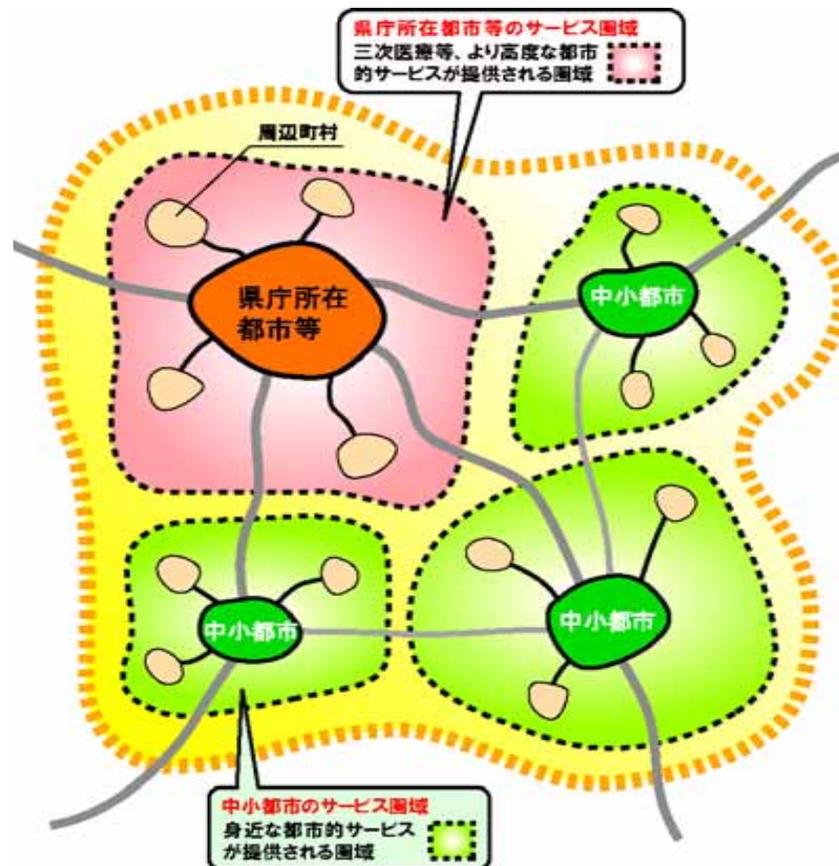
街に住み・訪れる楽しみが得られる、歩いて暮らせる街なかエリア(まち)

よりよい生活環境が確保され、ゆとりある生活が楽しめる郊外エリア(まち)

農ある暮らしや自然志向の生活が楽しめる緑農エリア(里)

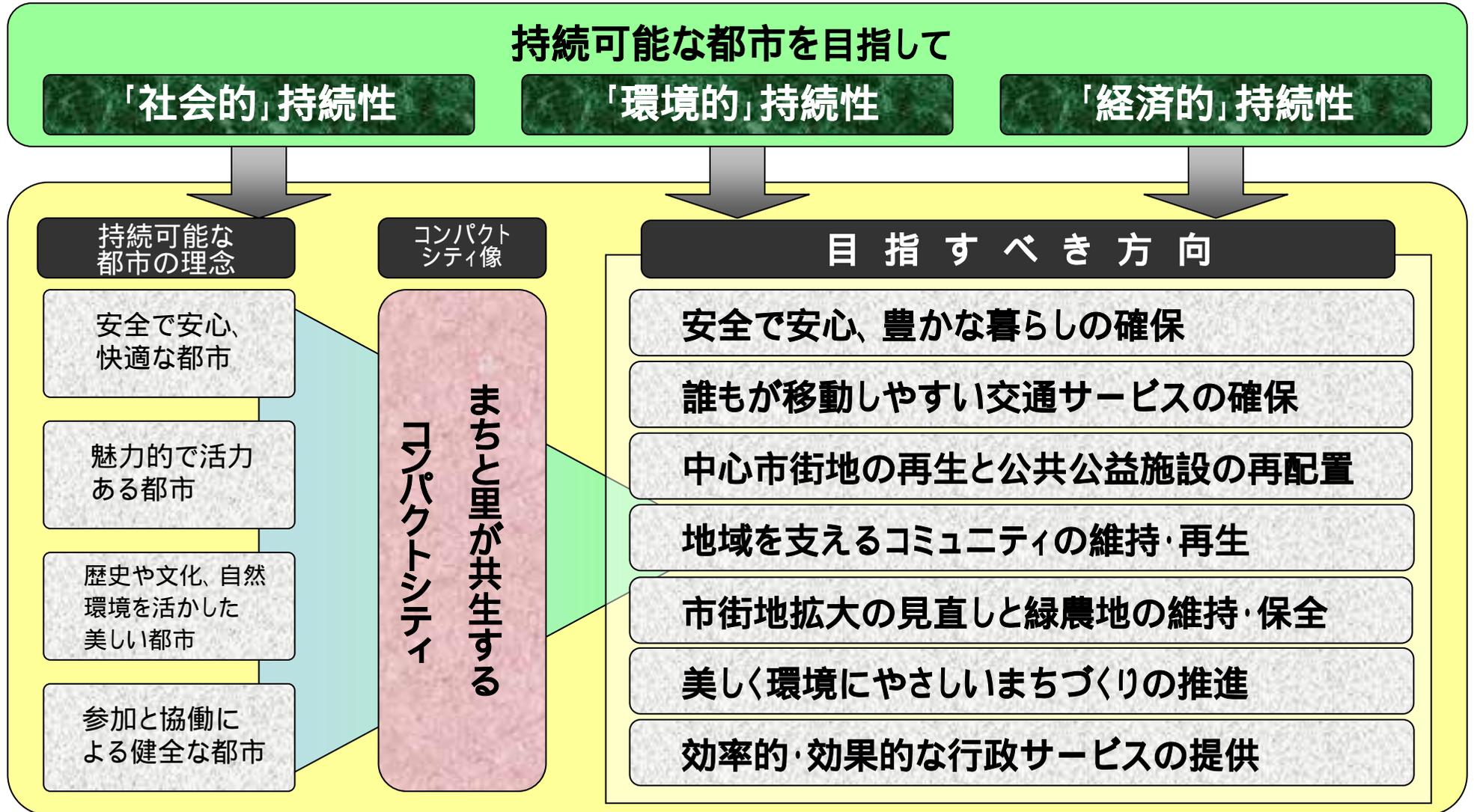
「東北地方の中小都市」のコンパクトシティの概念図

都市間連携の向上のために不可欠となる 広域道路ネットワーク



広域的な市町村連携の概念図

(2) 「東北地方の中小都市」のコンパクトシティの目指すべき方向



コンパクトシティの実現に向けて

(1) コンパクトシティの推進方策

地域住民等の主体的な参加によるコンパクトシティの推進

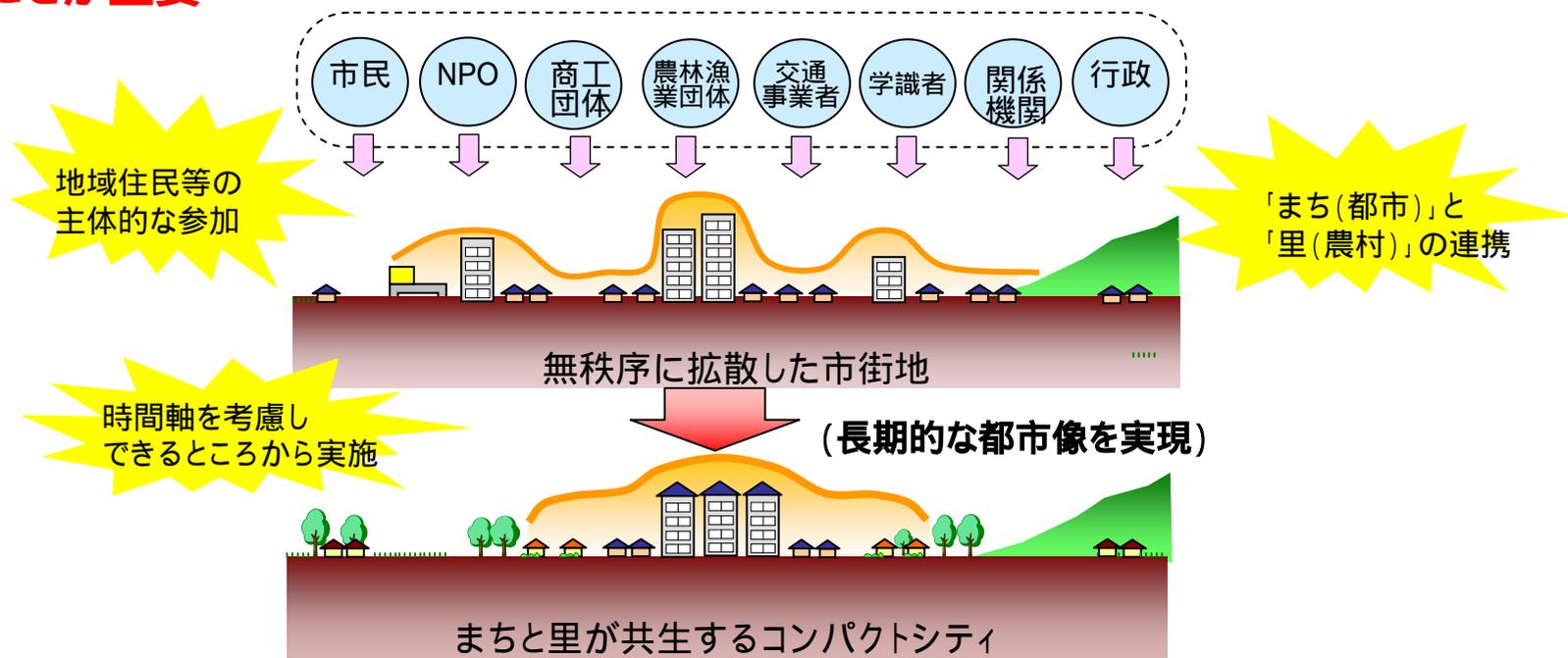
地域住民がまちづくりに主体的に参加できる仕組みづくり、まちづくりの人材・団体の育成が必要

「まち(都市)」と「里(農村)」の連携によるコンパクトシティの推進

「まち」と「里」が相互の関連性を認識し、連携により共生することが大事

時間軸を考慮したコンパクトシティの推進

地域の将来像“グランドデザイン”を関係者が共有し、時代のニーズを反映しながらまちづくりを進めることが重要



(2) コンパクトシティの実現方策

